

国際ロータリー会長
ウィルフリッド J.ウィルキンソン
地区ガバナー
渡辺 敏彦
北クラブ会長
山中 正
幹事
小林 繁男
SAA
安田 貞夫

三条北ロータリークラブ週報

例会日2008. 1. 8 累計 No.1021 当年No.26



例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30
例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114
事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内
TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488
ホームページ: <http://www.sanjo-nrc.org>
メールアドレス: north@sanjo-nrc.org

本日の出席:
67名中44名
先々週の出席率:
68名中54名79. 41%
(前年同期86. 89%)

先週のメークアップ:(敬称略)

12月26日三条RCへ
中條耕二、西村 護
27日三条東RCへ
高橋彰雄、本間建雄美
西村 護

本日の行事:
「新会員入会式」
卓話
「お正月」



「ロータリーの友」 1月号紹介

- * 縦組み2頁
「自然のすごさに学ぶ」
- * 横組み48頁
「新潟県中越沖地震義捐金に
心から感謝！」
2560地区渡辺敏彦ガバナー

会長挨拶

山中 正会長



新年明けましておめでとうございます。本年も
よくお願い申し上げます。

さて、早いもので新年を迎えまして一週間が過
ぎました。メンバーの皆様方にはどの様なお正
月を過ごされましたでしょうか。私はお葬式の
仕事をしておりますので、お正月も、お盆も、
大型連休も、土曜、日曜、祭日もございません。

年中無休、24 時間営業を致しております。特にお正月の勤務体制
を維持する事に毎年苦慮しております。年中無休は営業システムと
しては簡単ですが、そこに24時間営業がプラスされると私のような
零細葬儀社では大変な事でございます。

我が北RCのメンバーの中にも年中無休で24時間業務体制のお仕
事をされている方が多くいらっしゃいます。病院経営の山本理事長
さん、タクシー会社経営の西山社長さん、ホテル経営の加藤社長さん、
石川社長さん、昇降機の保守管理等の羽賀会長さん、そして笹
原住職の要住院さん、等が思いつきます。それぞれにご苦勞はござ
いますでしょうか？

さて、お蔭様をもちまして、私の年度も後期に突入いたしました。
残されました半年、頑張ってお参りたいと存じます。今後、当クラブ
で予定されております大きな事業としては社会奉仕委員会が今年
度事業として取組んでおります『食育の啓蒙活動としての大山のぶ
代さんの講演会』がでございます。3月22日を予定しております。
当日のお手伝いもさることながら、講演会の費用も多くかかります。
社会奉仕活動の財源である、スマイルBOXへのご協力もお願い致
します。そして、渡辺ガバナーが『R財団・米山奨学の寄付で日本
一を目指そう』と言っておられます。クラブとしての協力が不可欠
です。両委員会の委員長さんにはいつもご苦勞をおかけしてござ
います。メンバー皆様のご協力をお願い致します。そして『会員増強』
も大きな事業の一つです。本日、三条印刷の渋谷社長さんの入会が
ございます。心から歓迎申し上げます。私の不徳の致すところ、後
ほど幹事報告の中に出てまいります。2名の退会者がございました。
会員増強にご尽力頂いております担当委員長さんおよび、積極
的に会員増強にご尽力頂いております会員の皆様誠に申し訳な

く思っております。会員増強につきましても、メンバー皆様方のご協力をお願い致します。年当初よりお願いばかりのご挨拶となりました。本年が皆様にとりまして、また、我が三条北RCにとりましても素晴らしい年になります事を祈念し、ご挨拶と致します。



幹事報告

小林繁男幹事

- ・渡辺GB、クラブ奉仕大委員長より
会員増強セミナー開催のお知らせ
日時 2008年2月9日(土) 12:00～
会場 ホテルオークラ新潟 4階
- ・ローターアクト委員長より
第38回地区大会のご案内
期日 2008年3月8日(土)～9日(日)
会場 三条リサーチコア

国際ロータリー第2560地区ローターアクト

感謝の心と柔軟な心

- ・米山記念奨学会より
「米山学友ホームカミング制度」のご案内
海外で活躍する学友の日本に里帰りしてその活躍等を紹介する為に航空券や滞在費を補助する制度。
- ・会費納入のご案内を配布しました。米山奨学寄付エントリーを頂いている方は一緒に納入していただくことになります。1月28日迄に振り込み頂きたいをお願いします。
又、口座自動引き落としの申し出を頂いている方は1月28日に引き落とさせていただきますので宜しくお願いします。

第7回理事会

- 開催日：平成20年1月8日(火) 11:30～12:30
開催場所：三条ロイヤルホテル 出席者数14/14(内委任状4)
出席者：山中 小林(満) 澁岡 安田 佐藤(啓) 小林(繁) 本間(建)
横田 岡田 斎藤(正) 石川(友) 米山(キ) 青柳 星野
協議事項：1. クリスマスパティー決算報告 承認
2. 退会届の件 承認
3. 修正予算案の件 承認
4. 新年会企画案の件 承認
5. 社会奉仕事業《食育講演会》の件 承認
3/22(土)大山のぶ代講演会 例会扱いとし
3/25(火)と振り替えとする
6. 馬場年度地区委員推薦依頼の件 承認
クラブ奉仕・広報委員会委員 駒形 実会員

ニコニコボックス：8日現在累計689,000円

- 渋谷 義徳君 本日より入会させていただきます。今後ともいろいろご指導の程お願い申し上げます。
- 山中 正君 新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。
- 安田 貞夫君 明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。
- 早川 瀧雄君 山中年度、後半がんばってください。
- 羽賀 一夫君 謹賀新年
- 高森 武志君 新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いいたします。

外山 晴一君 ①あけましておめでとうございます。今年も宜しく
②渋谷義徳さんの入会、歓迎します。
③齊藤 興一さんの卓話楽しみです。

斎藤 正君 新春を祝し、渋谷さんのご入会を歓迎します。

佐藤 啓策君 渋谷義徳さんの入会を歓迎します。

今井 克義君 おめでとうございます。ロイヤルホテル正面の謹賀新年のすばらしい書体に、スタッフに確認しましたら石川友意会員の手に成るものとのこと。脱帽です。

佐藤 弘志君 明けましておめでとうございます。渋谷さんの入会待ちしていました。
齊藤さん年初の卓話ご苦労様です。

小林 満君 新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

佐藤 義英君 新年あけましておめでとうございます。ことしも宜しく願いいたします！！

丸山 勝君 新年明けましておめでとうございます。渋谷さん入会おめでとうございます。

中條 耕二君 齊藤興一會員の卓話ご苦労様です。

大野 新吉君 明けましておめでとうございます。本年も昨年同様の引き立て宜しく願いします。
本日は新年早々新會員として渋谷さんのご入会誠にめでたい限りです！！
本日の卓話、新年初例会にふさわしい知識袋の齊藤會員の「お正月」楽しみにしています。

堀川 正幸君 新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

青木 省一君 新年おめでとうございます。今年もよろしく。

樋口 金占君 新年おめでとうございます。

横田加代子君 あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申しあげます。

落合 益夫君 //

石川 勝行君 //

高橋 彰雄君 //

星野 義男君 渋谷さんの入会を歓迎します。

馬場直次郎君 正月は田舎、津川で過ごしました。のんびりと心の洗濯をしてきました。近所の酒屋さんのおばあちゃん102歳となり日々コップで日本酒を冷やで飲んでいるとか。是非あやかりたいものだと感じ入った次第でした。誠にめでたい話だと思いました。

山上 茂夫君 明けましておめでとうございます。本年も皆様のご多幸とロータリークラブの発展を祈念いたします。

坂内 康男君 新年おめでとうございます。本年も宜しく願いします。本日の卓話、齊藤さん楽しみに聞かせてください。

小林 繁男君 渋谷さん、お待ちしていました。

丸山 達夫君 正月ですから

米山 忠俊君 新年おめでとうございます。ボックスに協力

小林 幹扶君 明けましておめでとうございます。今年出来るだけ出席しようと思います。
齊藤會員の卓話楽しみにしています。

山本 賢君 おめでとうございます。新しい年が皆様に楽しく幸せが沢山ありますように。

駒形 実君 あけましておめでとうございます。渋谷さん入会おめでとうございます。宜しく
お願い致します。

柄沢 憲司君 明けましておめでとうございます。渋谷義徳さんの入会おめでとうございます。
 齊藤 興一君 ボックスに協力
 山崎 勲君 //

阿部 勝子君 明けましておめでとうございます。昨年中は色々
 ニコニコボックスにご協力下さいましてありが
 とうございました。今年も宜しくお願い致します。
 齊藤さん卓話楽しみです。



* 1 2月のコメント賞は佐藤 啓策会員です。

米山ボックス

中條 耕二君 あけましておめでとうございます。毎月積み立て分です。
 今井 克義君 新年にあたりBOXに
 丸山 達夫君 あけましておめでとうございます
 山本 賢君 おめでとうございます。新しい年を迎えるにあたり、米山奨学目標達成にご協力を
 たまわりたいと存じます。

新会員入会式

新入会員プロフィール

氏 名 渋谷 義徳
 生年月日 昭和17年1月5日
 会社名 三条印刷(株)
 役職名 代表取締役社長
 会社住所 三条市元町9-3
 TEL 0256-32-2281
 FAX 0256-32-2670
 自宅住所 三条市元町9-6
 TEL 0256-35-7446



卓話

齊藤 興一会員

「お正月」



会長さんに今年の1
 月年始めの卓話に正
 月について話してく
 ださいと頼まれ、私も
 興味が、勉強のつも
 りで、引き受けました。

その昔の我が国では、年間最大の祝う月とさ
 れていたようです。古代の日本は前年度の収
 穫を終わり、全ての生物が躍動する春を迎え、
 その生命力の更新を祝うことに意味があつた
 ようです。弥生時代の米が農耕で最大の収穫
 だったように、正月は1年の始めとして、収
 穫に感謝し、新しい年の五穀豊穰を願って、
 年中行事のなかでも、もっとも重要な祈りの

日であり、年神様を迎えて、1年の生活の安泰を祈る、さまざまな儀礼が集中していて、正月が年間最大の祝い月と、されていたと考えられます。

古来正月は中国より渡来したものと思われま
す。日本において、暦が採用されるまでは春
と秋の2回の季節感しかなかうです。あ
る本によると中国の史書「魏志倭人伝」は倭
国は「其俗不知正歳四時但記春耕秋収以為年

紀」其の俗（倭国）正歳四時を知らず春耕秋

収を以て年紀と為す。と書いてあります。す

なわち紀元三世紀頃の日本では、春に耕作し
て秋に収穫する事をもって年数を数えて、草
木が芽を出す春の始めを、年の始めとしてい
たようです。めでたいは、春を迎え全ての植
物が芽を出す。芽を吹く。芽が出た。がおめ
でたいの語源のようです。その後暦が採用さ
れ、十干・十二支と正式な月・四季となり、
仏教の伝来と共に農耕の神と祖先の神を合わ
せて、年徳大明神を年取神として祭り、感謝
と祈りをしたようです。地域によっては「正
月様」と親しい名前と呼ばれている所もあり
ます。

◎飛鳥時代から平安時代にかけて、宮中で正
月行事や年賀が行われたようです。祭壇に飾
られたのが、餅や赤いご飯（古代米で赤米の
こと）のようです。当時、餅のことを玉と呼
んでいました。玉はのちにお年玉と呼ばれま
す。儀式の後は宴が行われたようです。門松
については、万葉集の中に70首を越す歌の
中に門松を飾る歌は1つも無く、天平16年
（744年）正月11日に天智天皇のひ孫で
歌人の市原王（いちはらのおおきみ）や大友
家持らが参加して、戸外の一本松の下で宴の
催しをしていたが、正月の松が特別視され
ていた面もあるが、松飾りの事は無く。新年
に門松を立てた行事は平安時代以前に無かつ
たと考えられます。

◎鎌倉時代から室町時代にかけて、宮中の外

に武士階級の間には正月を祝う儀式が行われ
ている。中でも年賀に来ない武将は、謀反の疑
いを掛けられ戦に発展したり、領地を没収さ
れた武将もあったようです。正月を大正月と
呼び、男の正月とも呼んでいました。

◎安土桃山時代から、江戸時代になると、一
般民衆の中に正月が考えられ、色々な行事が
地域々々の特色をいかしながら発展していっ
たようです。正月は1ヶ月くらい前から準備
に入っていました。中でも有名な話がありま
す。正月の準備で、忠臣蔵の話です。赤穂浪
士の吉良邸討ち入り前夜すなわち12月13
日の夕方大高源吾が「笹や笹」と青竹を担い
で売り歩きながら、吉良邸の様子を探る場面
がある。その途中、両国橋で俳諧の宗匠宝井
其角と出会う。この枝笹のついた青竹はすす
払いの為の竹で昼間の売れ残りであった。

正月の行事は稲作の種蒔。田植えから収穫ま
でが行事の中にのこっています。一方正月は
休みの意味もあります。寝正月、雨降り正月
がそれであり、それに目正月も休みの一つで
ある。江戸中期の頃より一般民衆も生活が楽
になると色々正月文化が生まれ、大人から
子供にかけて、一年一回の様々な行事が行わ
れて来ました。

◎明治時代から今日にかけて、江戸文化の伝
承であるが忘年会や新年会は明治になってか
ら官公庁の役人から始まったと考えられます。
役人は禄から給料に代わり、他に賞与が出た。
賞与で呑んだのが始まり。明治21年生まれ
の私の孫婆さんから聞いた話によると、正月
は五つの正月に分かれ、前から準備した。3
1日年取りの大晦日は煤を払った部屋で家族
全員で、年取神様にお餅を供え年を頂き、お
せちを食べる。

一日は正月、年の始め、元旦という。1日か
ら3日間大正月、又は男の正月で、お宮、お
寺様に年賀の礼をつくしご年始を持参してお
参りに行く。

七日正月は、七草と呼び、雑煮を頂く。七草

なずな はこべら せり すずな おぎょう すずしろ ほとけのざ
 (齋・藜蕪・芹・菘・御行・須々代・仏座)

七種類の芽ぶくれた青物を餅と一緒に煮込んで神仏に供え感謝のお参りをして皆で頂く。
 十一日正月は、鍬入れ、田打ち、田畑のしつけ仕事の儀式の後、お飾りを下げ、それを料理して神仏に感謝して皆で頂く。
 十四日は小年取りと呼び、家磨き常に掃除をしない所を掃除して繭玉を飾る。繭玉は、田植えを意味し、その後皆で小年を頂く。
 十五日正月は15日から17日を小正月と呼び、女正月とも呼ぶ。女、子供が中心で、嫁さんは実家に里帰り、子供の行事が多い為子供は外に里帰りの娘と苦労話を聞く。
 二十日正月は終い正月と呼び、繭玉をはずし収穫とし、神仏に感謝し、嫁さん達は収穫物を頂いてそして諭しお土産を持たせて嫁ぎ先

に帰る。帰ると天神講と重なり、最後の正月であった。

二月一日は、のど首だんごと呼び、正月の様々なご馳走に区切りをつけ、仕事に従事する。以上が正月の行事であったようです。

子供達に、正月のイメージを聞くと口を揃えて、お年玉と答えが返ってきました。昔、神仏にお供えしたお餅をお年玉として、分け与えたのが始まりで、いつの間にかお金に代わりお年玉として子供らに与えたようです。

又、俳句では、新年を意味する季語が170前後あります。それだけ日本人の心の中に正月や新年が大事にされてきました。これからも若い人達を初め、神仏に感謝する心を忘れずに、伝統ある日本の正月文化を伝承してもらったものです。

更に現在の正月は、農耕文化から経済工業文化が重用視され、変化されていくものと思われれます。



1月のお祝い

誕生日		ご夫人	
会 員			
本間 重満	1	中條 敦子	2
丸山 達夫	2	齊藤 玲子	3
横田加代子	2	加藤満寿子	9
大橋 政雄	3	小林 正子	18
渋谷 義徳	5		
坂本 勝司	7		
堀田 正弘	21		
外山 裕一	31		

結婚記念日

西山 斉・陽子	1
栄長 隆文・眞由美	8

* 紙面の都合により1週遅れの掲載となりました。お詫び申し上げます。

